

○信越総合通信局長表彰

別 紙

「電波の日」 （１団体・１個人）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
上越 5e 協議会 （会長 渡邊 隆（わたなべ たかし））	地域の企業等がローカル 5 G を活用した様々な実証ができる場を提供し、令和 6 年度には、家庭用除雪機の遠隔操作実証実験を実施するなど、地域における I C T を活用した課題解決に多大な貢献をされました。
小池 健一（こいけ けんいち） （J A 長野厚生連南長野医療センター 一篠ノ井総合病院 名誉院長）	信越地域の医療機関における電波利用推進協議会会長として、医療機関等への電波の専門家の派遣や電波利用に関する手引きの周知浸透に取り組むなど、地域医療機関における安全安心な電波利用環境の実現に多大な貢献をされました。

「情報通信月間」 （２団体 1 個人）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
特定非営利活動法人にいがた地域情報化推進協議会 （会長 佐藤 幹生（さとう みきお））	デジタル人材育成に向けたコンテスト及びデジタル・ディバイド解消に向けたスマートフォン教室の開催に尽力されたほか、e ネットキャラバンの活動において、数多くの講師派遣を行い、地域の I C T リテラシー向上に多大な貢献をされました。
株式会社ヌボー生花店 （代表取締役社長 山崎 年起（やまざき としき））	テレワークやクラウドツール等のテクノロジーを積極的に活用し、多様な働き方を実現するとともに、これらの導入による働き方改革の過程や成果を各地で講演等することで、地域の小規模事業者のテレワーク推進等に多大な貢献をされました。
山岸 重幸（やまぎし しげゆき） （ながの法律事務所 弁護士）	信越電気通信消費者支援連絡会の長野開催の座長として、信越地域における消費生活センター、電気通信事業者等の連携体制を確立し、電気通信サービスの契約等をめぐり、消費者問題解決の中核として多大な貢献をされました。

○信越電波協力会長表彰 （３団体）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
株式会社ドコモCS 新潟支店 （支店長 塩野 貴義（しおの たかよし））	令和 6 年 1 月の能登半島地震の新潟県内の被災地において、積極的に新潟県など関係機関と連携を図り、移動基地局車及び発電機配備等による携帯電話基地局の回復やその後の早期復旧を行うなど災害時の通信確保に多大な貢献をされました。

株式会社ドコモCS 長野支店 (支店長 家田 吉成 (いえだ よしなる))	令和6年1月の能登半島地震の新潟県内の被災地において、積極的に関係機関と連携を図り、移動基地局車及び発電機配備等による携帯電話基地局の回復やその後の早期復旧を行うなど災害時の通信確保に多大な貢献をされました。
ソフトバンク株式会社 関東ネットワーク技術統括部 (統括部長 黒見 寛人 (くろみ ひろと))	令和6年1月の能登半島地震の新潟県内の被災地において、積極的に関係機関と連携を図り、移動無線車の設置、基地局への発電機配備、衛星回線機器の設置などにより、その後の早期復旧を行うなど災害時の通信確保に多大な貢献をされました。

○信越総合通信局長賞（1団体）

「情報通信の安心安全な利用のための標語」（学校部門）

（敬称略）

受賞者名	受賞の概要
伊那市立長谷中学校 (校長 清水 慶一 (しみず けいいち))	2025年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において、安心安全な利用に関わる顕著な活動をされると共に優秀な作品を創作されました。 受賞作品：「考えて 面と向かって それ言える？」は、今年度1年間の啓発活動に活用されます。

<参考>

○信越電波協力会からの情報通信機器の寄贈（1団体）

信越電波協力会では、情報通信の普及発展を図る事業の一環として「電波の日・情報通信月間」を記念して、信越管内の福祉団体に情報通信機器を毎年度、寄贈しています。

（敬称略）

受贈団体の名称	寄贈機器
咽頭摘出者福祉団体 長野県信鈴会 (会長 手塚 清三 (てづか きよぞう))	情報通信機器一式